

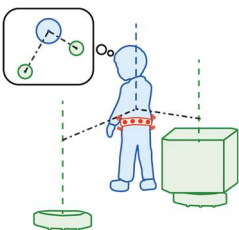
カツヤマキカイ株式会社と神戸大学による 「ハプティクスを使った安全・安心 IoT 技術の構築」に関する 産学連携プロジェクトが始動

カツヤマキカイ株式会社(本社:神戸市、代表取締役:木村吾郎)と神戸大学大学院工学研究科の永野光助教(以下、神戸大学)は、多様産業領域の「安全と合理化」に加えて、人々の「健康と安心」をサポートする技術や製品の研究・開発を行うため、「ハプティクス*を使った安全・安心 IoT 技術の構築」の産学連携プロジェクトを、2021年6月より神戸大学産官学連携本部(本部長:河端俊典)の協力により開始しています。

※ハプティクス:触覚技術(ヒトの「触覚・力覚」を計測・分析・提示・拡張する研究)

■カツヤマキカイ株式会社

機械専門卸売業と柔軟な技術対応力を持つ製造業を一体化した、汎用運搬技術のトータルプロデュースを主力事業とするグローバル対応型企业です。産業機械や機械工具の豊富な取り扱いに加え、あらゆる運搬技術にお応えできる技術を有しています。「生産財・消費財の専門卸商社」と「生産界唯一のエンジニアリング企業」の2軸を力に、“Move & Challenge(未来への考動)”のもと「動かす・運ぶ」分野のエキスパートとして「運ぶ仕組みづくり」のトータルプロデュースを目指しています。



周囲環境を人に伝える
触覚情報



ウェアラブルな触覚情報
提示装置(ベルト型)



屋外テストタワー
検証設営



水平搬送技術
(電動台車)



研究開発棟に
多目的実証空間を設営

■プロジェクトの期間

2021年6月1日 から 2024年5月30日 まで (3年間)

■背景

工場や搬送作業、高所作業などの中には常に危険が潜んでおり、事故が絶えません。そういった危険な環境下の中、人々の多くは危険情報を視覚や聴覚を通じて認知しています。しかし、視界不良現場や騒音環境下では、視覚や聴覚だけでは危険を十分に認知することは困難です。安全が求められる多様な環境下の中、危険性認知を効果的に生む触覚提示方法を構築することで、安全技術の確立を目指します。

■プロジェクトの概要

- ハプティクス(触覚技術)を活用して、安全/危険に関する情報だけでなく、周囲の様々な情報を伝える汎用的なIoTデバイス・システムの研究・開発を目指します。
- カツヤマキカイ株式会社が持つ研究開発棟を活用して、ハプティクスを社会環境・製品とマッチングさせることで様々な環境に応用できる技術を開発し、社会に貢献できる安全技術の確立を目指しています。
- カツヤマキカイ株式会社が神戸大学と産学連携プロジェクトを行うのは今回が初めてとなります。

■カツヤマキカイ株式会社 概要など

社 名	カツヤマキカイ株式会社	代 表 者	代表取締役社長 木村 吾郎
所 在 地	兵庫県神戸市中央区神戸空港 3 番地 12	設 立	1946 年 12 月
事 業 内 容	機械器具、工具の卸販売並びに運搬機器の設計・開発、製造、販売及び付帯サービス		
問 合 せ 先	本プレスに関するご連絡先:氏名 エンジニアリング事業部 塚本智紀 Mail : tomonori.tsukamoto@katsuyama.co.jp [Tel : 078-306-3663]		

■本件に関する神戸大学の問合せ先

問 合 せ 先	株式会社神戸大学イノベーション 技術移転部 豊田 一生 Mail : icd-info@silver.kobe-u.ac.jp [Tel : 078-803-6649]
所 在 地	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号

以上